

第2回学校運営協議会議事録

	校名	府立東百舌鳥高等学校
	校長名	浜田 佳樹
開催日時	令和5年10月31日(火) 14:15 ~ 16:15	
開催場所	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 校長室	
出席者(委員)	伊井直比呂 会長、梶山尚也 副会長 青木浩子 委員、西村 和彦 委員	
出席者(学校)	浜田 佳樹 校長、夏川照章 教頭、平井 啓一 事務長、 西川 英志 首席、中尾 直美 首席、郡山 鷹子 指導教諭 真島 匠、藤木 徹、二階堂 知子、釋水 明章	
傍聴者	0名	
協議資料	令和5年度 第1回授業アンケート結果、令和5年度 学校教育目標の自己評価票(進捗状況)、令和6年度使用教科用図書選定理由書	
備考		
議題等(次第順)		
<p>議題等(次第順)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学 ・校長挨拶 ・学校運営協議会会長挨拶 ・協議 <ol style="list-style-type: none"> (1)令和5年度 第1回授業アンケートについて (2)令和5年度 学校教育目標の自己評価票の進捗状況について (3)「学びに向かう探究学習」取組概要について (4)令和6年度 使用教科用図書の選定について (5)授業見学の感想及び授業改善に向けた提言 		
協議内容・承認事項等(意見の概要)		
<p>協議</p> <p>(1)令和6年度第1回授業アンケート結果について報告した。</p> <p>(4)令和6年度使用教科用図書選定理由書に関して満場一致で承認された。</p> <p>●質疑・提言</p> <p>(2)令和5年度学校教育目標の自己評価の進捗状況について分掌等は書面報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年 <p>終礼に力を入れ、1分テストを行っている。 ⇒1分テストは読解力を養う内容を取り入れている。 保護者懇談でもその内容について声かけをしている。 ベネッセのGTZより校内偏差値で知らせる。GTZに照らし合わせて伝える。 考査ごとの振り返り記入も行っている。 ⇒成績が思わしくない生徒は振り返り日誌をしている。担任の先生と毎日やりとりしている。 行事においても学年で集めて話したり、学級代表を集め学年目標を作成したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年 <p>修学旅行が成功。 ⇒民泊はできなかったがファームビジットなどで充実した内容で行うことができた。 生徒の満足度は高い。 農業体験では貴重な体験をさせていただいた。 生徒自身でレクレーションを計画し、仕切ることができた。教員の助けなく進めていたので成長を感じることができた。 保護者懇談を10月末に実施。 ⇒コースの最終確認、進路選択等の確認 進路からの動画をもとに生徒と保護者に共通理解を得やすかった。 生徒も進路を意識して過ごすことを意識できたのではないかと。</p>		

<p>・3年 進路実現に向けて進めている。 ⇒探究は志望理由書の書き方や自己PRの方法などを行ってきた。 将来のことも踏まえて就職の違反質問、自立するための費用なども取り入れている。 模試データを活用し、担任も生徒への適切な指導ができています。 模試の結果も伸びている生徒もいるので、生徒の希望を大切に、協力していきたい。 10月19日に車いすダンスを実施 ⇒事前指導をしっかりと行い、聞く態度、見る態度もよかった。 体験コーナーもしっかり参加できていた。 成長が見られてよかった。 あと4か月、卒業までしっかり見守りたい。</p>	
<p>(3)「学びに向かう探究学習」取組概要について(1・2・3学年主任)</p> <p>・1年 南大阪をテーマにした探究学習(取り組み4年目) ⇒テーマに沿った班活動(クラスを解体したもの)。 1クラスに2テーマずつ存在している。 東百舌鳥高校として4年目の取り組みなので、教員もスムーズに探究に取り組んでいる。 生徒自身がテーマから広げていく作業が難しい。 1月27日(土)に実施予定の探究発表会に向けて進めている。</p> <p>・2年 SDGs探究学習(取り組み4年目)。 ⇒テーマごとに班活動(クラスを解体したもの)。 企業の活動を切り口にしている。 南大阪元気プランの活動を改めて取り入れ、SDGsの観点で振り返っている。 仮説検証に重点を置いたSDGs探究学習をめざす。 1月の発表に向けて進めている。</p> <p>・3年 進路探究を実施 ⇒コースごとに様々な進路があり得るため、生徒のタイミングとあっているわけではないが、進路には必要なものを行っている。 クラス、コースに合うように担任の先生に進めてもらっている。</p> <p><質疑> ・教科と探究のつながりは? ⇒明確にはないが、グループワークや表現の場はどの教科にも根付いている。 ・コロナ中は一斉授業が多かったのでは? ⇒ギリギリのところで行っていた。4つのフォルテのおかげで進んでいる。 生徒が慣れているおかげもある。男女関係なく教えあいができている。</p>	
<p>●ご意見・ご感想 <授業見学の感想> ・教えあいの雰囲気や先生との会話がしっかりあった。 ・壁を感じることもないグループワークが定着している。 ・授業内容が持続可能性をテーマにした内容に驚いた。SDGs探究に活用いただけるようなものがある。 熱帯雨林について(英語)、ジレンマについて(国語)など ・様々な学習活動が探究学習に生きている。</p> <p><追加のご質問(抜粋)> ・1年生の学び直し12名在籍とありますがどのような学び直しをされているのか?生徒さんにとっては有意義な時間であろうと思いますので多くの生徒さんが参加されると良いですね。 ⇒定期考査の復習や授業で出された課題を行い、学び直しをしています。定期考査前には大阪公立大学の学生に来てもらい、質問の対応などしていただいています。 ・進路関係行事に関しては計画以上に進行中とありますが+α部分は何ですか? ⇒本年度新たに実施したことは、7月末に3年生の夏季講習を予備校の講師に実施してもらったということです。また、3月に進路関係の行事を行えるか、調整しております。さらに現在、進路行事をサポートしていただける業者の選定を進めております。生徒が自分の進路先の事を知り、進路を考える事ができる取り組みを実施していただけるよう選定しています。以上が、今年度の計画以上に進んでいる+αの部分になります。</p>	
<p>次回の会議日程</p>	
日時	令和6年1月31日(火) 15:00 ~ 17:00
会場	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 校長室